

ドロー部会細則

【1】 大会ドローは、コンピューターによりドロー部にて、厳正に行うものとする。

【2】 シード基準

- ① クラス分けのある大会では、最上級のクラスのみシードをつける。
- ② シード順位は、KTP ランキングに基づき決定される。
- ③ ワイルドカードを認めることができ、その選手の実力が抜群と認められる場合は、No.5～No.8またはNo.9～No.16シードの位置に入れることができる。
- ④ ダブルスの場合の優先順位
KTPを二人とも持ち、合計ポイントの高いペアが上位となる。
- ⑤ ポイントが同じ場合
シングルス：抽選で順位を決定。
ダブルス：ランキング上位者のいるペアが優先する。それも同じ場合は抽選で順位を決定。
- ⑥ 実業団B級においては、前年の結果によりシードをつける。

【3】 ドローの作成

予選のある場合も含め、ドロー部会細則に基づき行う。

ドロー部細則にない部分については「JTA テニスルールブック」トーナメント管理規定に基づき行う。

【4】 クラス分けの基準

適用大会

シングルス：秋季シングルス

ダブルス：菊水杯・アミノバリュー杯

上 級	ドロー会議時、KTPがシングルス・ダブルス（2人の合計）24ポイント以上の選手は、上級で申し込まなければならない。
中 級	ドロー会議時、KTPがシングルス・ダブルス（2人の合計）23ポイント以下の選手。
初 級	上記以外とするが、ポイントを持っている選手は除く。 尚、初級は初心者及びそれに相当するレベルのクラスです。 中級以上で相応の成績をあげられている選手のエントリーはご遠慮願います。

※ポイントを所有していない選手については、過去の戦歴を基にクラスを変更させることができるものとする。

【注意事項】

クラス分けのある大会において、優勝した選手は、向こう3年間同大会の同クラスには出場できない。
(上級は除く) (平成14年度より)

クラス分けの大会においては、過去3年間の優勝者をプログラムに明記する。
(平成14年度より)

コンピューターランキングポイントシステムについて

【主 旨】

選手達のひとつの励み、目標としてとらえてもらい実力の向上につなげていただきたい。また、各大会への選考、推薦、大会シードの決定等の客観的資料としたいということにあります。

このようなことから、高知県テニス協会独自のコンピューターランキングシステムを採用しています。

K・T・P（Kochi Tennis Tournament Point Masters）

- ① 年間ランキングは高知県テニス協会が主催するテニストーナメントのうち、次の大会の成績ポイントにより決定される。

一般シングルス	全日本選手権県予選 高知県テニス選手権 秋季シングルス（上級） 高知県選抜テニス選手権	一般ダブルス	こうぎんCUP 高知県テニス選手権 冬季ダブルス 高知県選抜テニス選手権
---------	--	--------	---

- ② KTPは対象大会に出場し、獲得したポイントを合計した数とする。（1大会でも可）
ダブルスは個人単位で計算する。
- ③ No Show による Walk Over の場合は勝者としてのポイントが与えられる。
- ④ 対戦相手が Retire の場合は勝者としてのポイントが与えられる。

ポイント制度

エントリー数	65～128	33～64	17～32	9～16	5～8	4
優 勝	220	180	140	108	76	
準優勝	167	137	106	82	58	
第3位	139	114	89	69		
第4位	110	90	70	54		
第5位	84	69	54			
第6位	75	62	48			
第7位	66	54	42			
第8位	57	47	36			
9～12位	37	31				
13～16位	28	22				
17～24位	21					
25～32位	14					
シード数	32	16	8	4	2	1